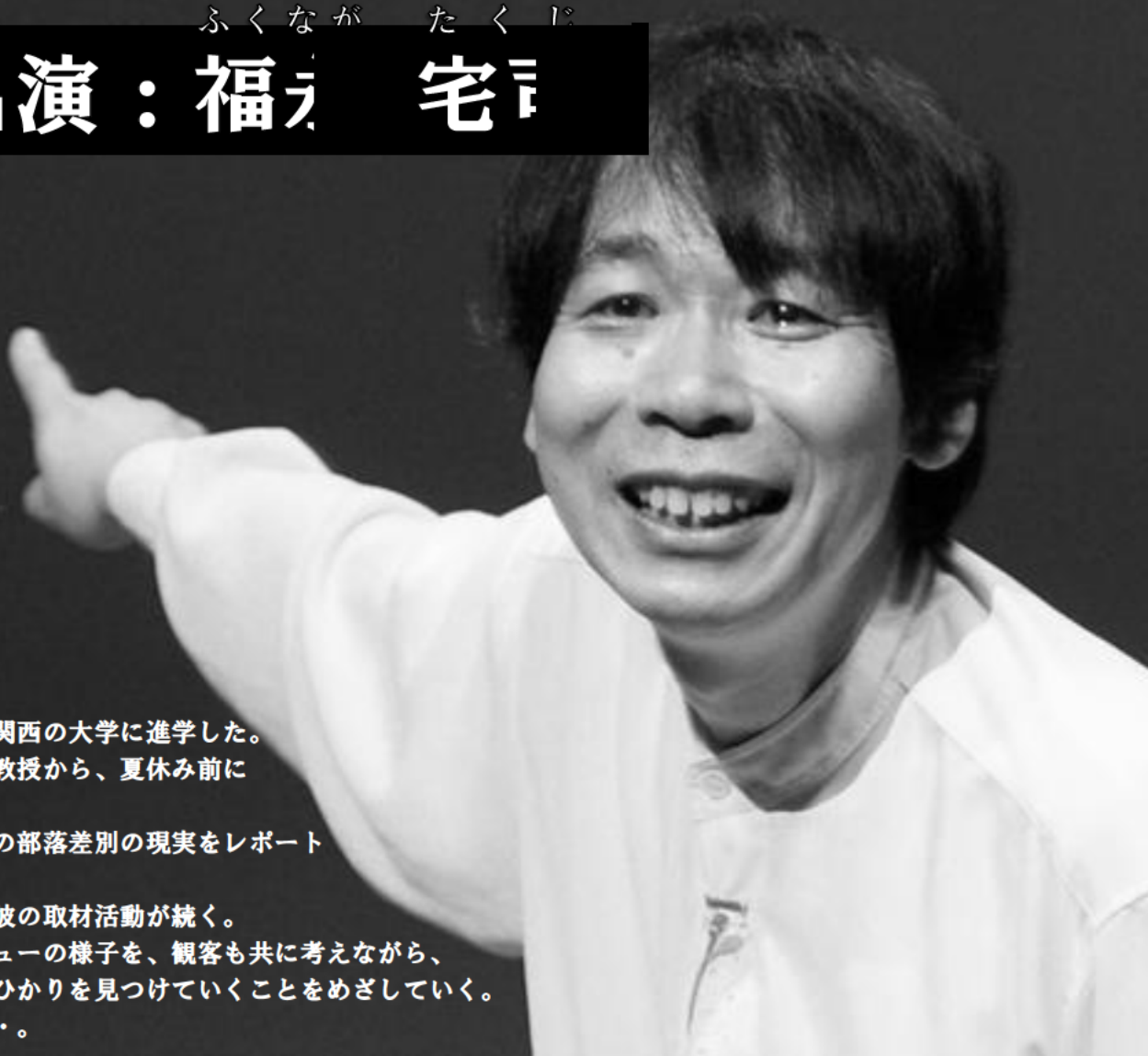


同和問題を考えるオリジナル作品

# 一人芝居「ひかり」

ふくなが たくじ

作・出演：福永 宅司



—本作のあらすじ—

主人公の林は福岡市から関西の大学に進学した。  
受講している同和教育の教授から、夏休み前に  
こんな宿題を出される。

「地元に戻って身の回りの部落差別の現実をレポート  
してくること。」

ここから数年にわたって彼の取材活動が続く。

本作品は、彼のインタビューの様子を、観客も共に考えながら、  
部落差別を解消していくひかりを見つけていくことをめざしていく。

その「ひかり」とは・・・。

**日 時** 2017（平成29）年2月21日（火）

13:30～15:30（開場 13:00）

**会 場** 三重県人権センター 多目的ホール

（津市一身田大古曾693-1）

**定 員** 300名 ※入場無料・手話通訳あり

電話、FAX 又は Eメールでお申込みください。

（詳しくは裏面をご覧ください）

**主 催** 三重県

— 福永宅司さんプロフィール —

子どもの学び館代表取締役  
教育、子育て、人権問題の講演家  
であり、一人芝居演者。  
福岡市在住の元小学校教諭、元大  
学講師。

「この人の講演は眠る暇がない」  
と口コミで講演依頼が続く。

学力・自尊感情・生活リズム・  
人権・・・

その活動はテレビ、ラジオ、新  
聞等で紹介され、毎年全国各地で  
150回前後の講演が続く。

**問い合わせ** 三重県人権センター 啓発課 高木・丸野